

Coca-Cola West

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社

株主・投資家のみなさまへ

第49期 中間事業報告書

平成18年1月1日から平成18年6月30日まで

証券コード:2579



コカ・コーラウエストグループ	03
トップメッセージ	05
トピックス	07
地域社会貢献活動	09
地域環境推進活動	10
中間連結財務諸表	
コカ・コーラウエストジャパン株式会社	11
近畿コカ・コーラボトリング株式会社	15
会社概要	19
グループ会社一覧	20
株式の状況	21
株主メモ／株主優待制度	22

新しい道を歩きはじめます。 「次のさわやかさ」をお届けするために。

一つになったから、できることがある。

お客様のいちばんそばにいる私たちだから、できることがある。

この国を、西のほうから、うるおすために、一人ひとりが考えはじめました。

もっと新しいことをはじめめるために。もっと誰かをワクワクさせるために。

私たちは、思いを一つにして「次のさわやかさ」をお届けしようと思います。

Coca-Cola





2006年7月1日、コカ・コーラ ウェスト ホールディングス設立。

コカ・コーラウェストジャパン、近畿コカ・コーラボトリング、三笠コカ・コーラボトリングは、一つのグループとしてスタートしました。

コカ・コーラウェストグループは、コカ・コーラウェストジャパン(株) [担当地域: 長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、広島県、岡山県、鳥取県、島根県]、

近畿コカ・コーラボトリング(株) [担当地域: 兵庫県、大阪府、京都府]、三笠コカ・コーラボトリング(株) [担当地域: 和歌山県、奈良県、滋賀県]などで構成されています。

Coca-Colaは、The Coca-Cola Companyの登録商標です。

West



コカ・コーラウエストグループ

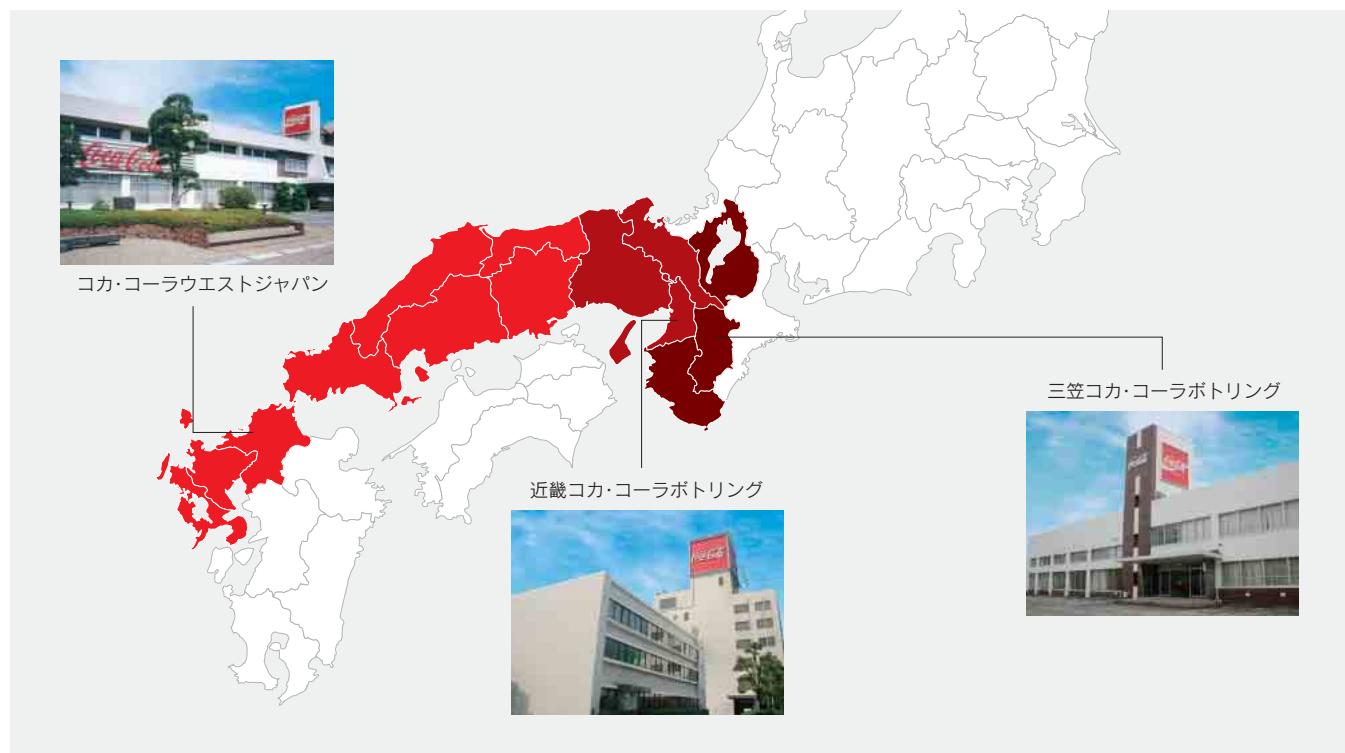
概要

Overview

コカ・コーラウエストグループは、コカ・コーラウエストジャパン株式会社、近畿コカ・コーラボトリング株式会社および三笠コカ・コーラボトリング株式会社などで構成され、日本の人口の約3割を占める巨大な市場が営業テリトリーであり、日本コカ・コーラ株式会社の戦略的パートナーとして、コカ・コーラシステムの変革をリードする重要な役割を担います。日本コカ・コーラ株式会社との具体的な連携領域としては、戦略立案から市場展開にいたる一貫通貫したプロセスの確立、商品開発

やテストマーケティングへの協力、セールスマーケティングに対する先行的な展開、ITインフラの基盤構築、人材交流など多岐にわたります。

さらに、重要なステークホルダーである株主のみならず、お客さま、お得意さまから信頼される企業作りに努めてまいります。私たちが長年にわたって築き上げてきた地域社会との強い絆は、これからも変わることなく受け継ぎ、今後も地域に密着した良き企業市民として、豊かな社会の実現に貢献いたします。



Coca-Cola West

ーコカ・コーラウエストグループ経営理念ー

飲料ビジネスの未来を創造します。

私たちは、

- ・お客さまに喜んでいただける商品・サービスをお届けします
- ・社員一人ひとりの働きがいと生活を大切にします
- ・継続的な成長により株主の信頼や期待に応えます
- ・社会や環境とのつながりを育みます

この「未来」という言葉には、「価値」という意味を含んでおり、「お客さま」「社員」「株主のみなさま」「社会と環境」それぞれに対する価値を向上させること、そして新たなグループであるコカ・コーラウエストグループが発足したことで、未来につながるということを意味しております。

そして、「私たちは、」から始まる4つの文章は、「お客さま」「社員」「株主のみなさま」「社会と環境」に、高い価値を提供し続けていくことを表しています。

トップメッセージ

中間期の経営概況と業績

当中間期におけるわが国経済は、原油価格高騰の長期化など懸念材料はあったものの、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加に加え、雇用環境の改善による個人消費の拡がりなど、景気は堅調に回復の兆しが見受けられました。

清涼飲料業界におきましては、4月の天候不順の影響や、既存ブランド育成への注力による大型新商品の導入控えなどから、市場成長はマイナスとなる見込みであります。また、日本茶の成長は伸び止まり、市場の牽引役はミネラルウォーターだけになりつつある中、流通チャネルの多様化や販売競争の激化など市場環境は激変しており、清涼飲料各社を取り巻く経営環境はますます厳しい状況にあります。

<コカ・コーラウエストジャパン株式会社>

コカ・コーラウエストジャパングループは、このような状況において、今後さらに企業価値を増大させ、成長・発展していくため、中期経営基本方針「皆革II GET No.1」に沿った種々の活動にグループ一丸となって邁進いたしました。

結果として、収益の拡大に努めたものの、販売数量の減少により、連結ベースの当中間期の経営成績は、売上高が1,116億9千3百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益が31億2千9百万円

(前年同期比41.1%減)、経常利益が34億6千4百万円(前年同期比37.1%減)、中間純利益が17億2千9百万円(前年同期比32.0%減)となりました。

営業面におきましては、絶え間なく変化し続けるお客さま・お得意さまのニーズに素早く的確に応えるべく、「お客さま・お得意さまの立場」に立った活動を徹底するとともに、自動販売機チャネルを中心とする市場開発の徹底強化とスーパーマーケットにおける販売と収益の積極拡大を行うなど、清涼飲料における競争力の強化とグループ全体の収益力の強化に取り組みました。

また、グループ全社員が企業としての社会的責任(CSR)を確実に果たすため、CSRを常に意識した行動を徹底すべく教育や啓発活動を推し進めるとともに、地域社会貢献活動や地域環境推進活動につきましても継続実施いたしました。

<近畿コカ・コーラボトリング株式会社>

近畿コカ・コーラボトリンググループは、目標利益を達成するため、前期に引き続き「お客さまから見た企業ブランド価値の向上」と「経営力の強化」を基本戦略とする事業活動にグループを挙げて取り組みました。

結果として、収益の拡大に努めたものの、販売数量が伸び悩み、連結ベースの当中間期の経営成績は、売上高が816億5千1百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益が6億6千2百万円(前年同期比73.6%減)、経常利益が5億2百万円(前年同期比79.3%減)となりました。

営業面におきましては、お客さま満足を実現するため、お客さまのニーズに基づいた商品・自動販売機・ソリューション提案を実施するとともに、地域イベントへの協賛など地域に密着した営業活動を展開しました。

製品の需給面におきましては、中期拠点計画に基づき、神戸地区における既存拠点を集約統合するため、3月に新神戸拠点の建設に着手しました。

また、大阪府をはじめとする各行政との「災害時における飲料の提供協力に関する協定」の締結や、自動販売機の売上の一部を地域活動の資金とする地域還元型自動販売機の展開など、グループ全体でCSR活動を推進しました。

配当金について

当中間期の配当金につきましては、平成18年6月30日現在のコカ・コーラウエストジャパン株式会社の株主のみなさまにおかれましては1株当たり20円、平成18年6月30日現在の近畿コカ・コーラボトリング株式会社の株主のみなさまにおかれましては1株当たり12円といたしました。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役、CEO

末吉 紀雄

代表取締役、COO

守部 正和

トピックス

新商品

当中間期は、「アクエリアスフリースタイル」、「からだ巡茶」、「ファンタメロンクリームソーダ」などを発売しました。また、「アンバサ」、「ジョージアエメラルドマウンテン」などをリニューアルしました。





コカ・コーラ生誕120周年イベント

Coke Expo

“コカ・コーラ生誕120周年を記念した万博を開催”というコンセプトのもと、「見て(history!)」「遊んで(play!)」「飲む(Drink!)」という3つの楽しさを創出しました。



「見て(history!)」

120周年の歴史を感じさせるグッズを展示



「遊んで(play!)」

ヨーヨー公式インストラクターによるパフォーマンスを披露



「飲む(Drink!)」

Cokeを飲んで「スカッと爽やかな気分

Coke Station

エリア内の拠点でサンプリングを実施しました。120年間愛され続けるコカ・コーラの変わらぬおいしさを体験していただきました。つめたく冷やしたコカ・コーラでどの会場もスカッと爽やかな笑顔で包まれました。



福岡:天神ライオン広場

5月3日



広島:フラワーフェスティバル

5月3日~5日



みんなCokeが大好き!

「シュワツとしておいしい」

FIFA ワールドカップ

コカ・コーラ×中田英寿共同企画 ジュニア親善大使

日本全国から選ばれた「コカ・コーラジュニア親善大使」18名が、FIFAワールドカップドイツ大会にフラッグベアラーとして参加しました。



任命式

全国各地の中学生3,678名の中から18名を選出



オーストラリア戦

6月12日の日本対オーストラリア戦にフラッグベアラーとして近畿エリアから選ばれた中学生が登場

地域社会貢献活動

コカ・コーラウエストグループは、「地域社会とともに」を基本姿勢に、「社会福祉」「スポーツ活動」「文化・教育活動」「地域イベント」など、地域社会に対する貢献活動を実施しています。

当中間期の活動としては、青少年の健全な育成を目的として、株式会社リコーおよび三愛グループとともに佐賀県鳥栖市河内町に設立した「市村自然塾 九州」が4年目を迎えました。

また、今年も公立の盲・聾・養護学校へのパソコンなどの教材贈呈、小学校への一輪車贈呈、さらには「さわやかクラシックコンサート」開催や当社グループのカンパニースポーツクラブであるラグビー部の指導による「さわやかラグビークリニック」の開催などの活動を行い、地域社会のみなさまにご好評いただいています。



市村自然塾 九州
基本理念「生きる力を大地から学ぶ」



一輪車贈呈
小学校に一輪車を贈呈



一輪車贈呈
一輪車を取り入れた授業



さわやかクラシックコンサート
福岡市(シンフォニーホール)



さわやかラグビークリニック
山口会場



さわやかラグビークリニック
福岡会場

地域環境推進活動

コカ・コーラウエストグループは、地球温暖化対策への取り組みおよび資源のリサイクル・環境美化・環境保全などの活動を実施しています。

当中間期の主な活動としては、水を大量に使う企業として水資源涵養林の保全に積極的に取り組むことを目的に、佐賀県鳥栖市の約17ヘクタールの森を「さわやか自然の森」と名付け、今後30年間、林野庁と共同でこの森を育てることにいたしました。

早速6月に今年の新社員を対象に、枝打ちや林道づくり等の林業体験を実施しました。今後は、社員の家族にも対象を広げた活動を展開してまいります。



さわやか自然の森



新社員による保全活動(枝打ち)



契約締結後握手する九州森林管理局山田局長(左)と末吉CEO(右)



新社員による保全活動(林道づくり)

中間連結財務諸表

コカ・コーラウエストジャパン株式会社

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第48期 (平成17年12月31日)	第49期(中間) (平成18年6月30日)
<資産の部>		
流動資産:		
現金及び預金	13,101	9,506
受取手形及び売掛金	11,994	12,474
有価証券	7,706	5,116
たな卸資産	7,169	6,955
その他	10,769	11,945
貸倒引当金	△ 67	△ 65
流動資産合計	50,673	45,934
固定資産:		
有形固定資産:		
建物及び構築物	18,856	19,519
機械装置及び運搬具	13,981	13,998
販売機器	15,253	18,778
土地	34,369	34,784
その他	1,824	1,848
有形固定資産合計	84,285	88,929
無形固定資産		
	2,925	2,803
投資その他の資産:		
投資有価証券	60,348	59,491
前払年金費用	6,746	8,558
その他	3,973	3,824
貸倒引当金	△ 241	△ 240
投資その他の資産合計	70,826	71,633
固定資産合計	158,038	163,367
資産合計	208,711	209,301

【建物及び構築物】

建物及び構築物は、岡山および周南新拠点新築により、前期末に比べ6億6千3百万円増加し、195億1千9百万円となりました。

【販売機器】

販売機器は、販売機器取得により前期末に比べ35億2千5百万円増加し、187億7千8百万円となりました。

【土地】

土地は、北九州新拠点の土地取得により、前期末に比べ4億1千5百万円増加し、347億8千4百万円となりました。

(単位:百万円)

科目	第48期 (平成17年12月31日)	第49期(中間) (平成18年6月30日)
<負債の部>		
流動負債:		
支払手形及び買掛金	2,809	3,177
未払法人税等	2,166	1,001
未払金	7,787	7,328
設備支払手形	183	100
その他	4,833	6,747
流動負債合計	17,780	18,356
固定負債:		
退職給付引当金	2,768	2,679
役員退職引当金	206	59
連結調整勘定	48	90
その他	9,905	10,358
固定負債合計	12,929	13,187
負債合計	30,709	31,543
<少数株主持分>		
少数株主持分	4,394	—
<資本の部>		
資本金	15,231	—
資本剰余金	35,399	—
利益剰余金	131,982	—
その他有価証券評価差額金	2,437	—
自己株式	△ 11,442	—
資本合計	173,608	—
負債、少数株主持分及び資本合計	208,711	—
<純資産の部>		
株主資本:		
資本金	—	15,231
資本剰余金	—	35,399
利益剰余金	—	132,096
自己株式	—	△ 11,167
株主資本合計	—	171,560
評価・換算差額等:		
その他有価証券評価差額金	—	1,924
評価・換算差額等合計	—	1,924
少数株主持分	—	4,273
純資産合計	—	177,758
負債純資産合計	—	209,301

【役員退職引当金】

役員退職引当金は、平成18年3月をもって役員退職慰労金制度を廃止したことに伴い、長期未払金に振り替えたことにより、1億4千6百万円減少し、5千9百万円となりました。

コカ・コーラウエストジャパン株式会社

連結損益計算書

(単位:百万円)

【売上高】

エリア内販売数量の減少および品種構成変化等の影響により、売上高は前年同期に比べ56億6千6百万円減収(4.8%減)の1,116億9千3百万円となりました。

【営業利益】

エリア内販売数量の減少および品種構成変化等の影響による売上総利益の減少を補うべく、経費削減に努めましたが、結果として、営業利益は前年同期に比べ21億8千3百万円減益(41.1%減)の31億2千9百万円となりました。

【経常利益】

営業利益の減少を受け、経常利益は前年同期に比べ20億4千4百万円減益(37.1%減)の34億6千4百万円となりました。

【中間純利益】

中間純利益は前年同期に比べ8億1千3百万円減益(32.0%減)の17億2千9百万円となりました。

科 目	第48期(中間) (平成17年6月30日)	第49期(中間) (平成18年6月30日)
売上高	117,359	111,693
売上原価	65,557	62,484
売上総利益	51,802	49,208
販売費及び一般管理費	46,489	46,079
営業利益	5,313	3,129
営業外収益	588	696
受取利息	154	188
受取配当金	93	153
不動産賃賃料	143	29
その他	196	325
営業外費用	392	361
固定資産除却損	183	219
不動産賃賃原価	66	7
その他	142	134
経常利益	5,509	3,464
特別利益	191	—
固定資産売却益	75	—
投資有価証券売却益	62	—
国庫補助金収入	53	—
特別損失	1,289	119
地震災害損失	65	—
固定資産除却損	10	—
固定資産除却補償金	—	42
投資有価証券評価損	16	12
子会社社名変更費用	33	—
新紙幣対応費用	1,014	—
酒税追徴額	149	—
経営統合関連費用	—	64
税金等調整前中間純利益	4,411	3,345
法人税、住民税及び事業税	1,297	890
法人税等調整額	581	819
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 9	△ 94
中間純利益	2,543	1,729

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第48期(中間) (平成17年6月30日)	第49期(中間) (平成18年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,769	6,963
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,361	△ 12,949
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,776	△ 1,309
現金及び現金同等物の減少額	△ 3,368	△ 7,296
現金及び現金同等物の期首残高	21,788	20,238
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,419	12,942

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、69億6千3百万円のプラス(前年同期比20.7%増)となりました。販売数量の減少に伴い、税金等調整前中間純利益は減少したものの、当中間期における法人税等の納付額が、前年同期に比べ減少いたしました。これが主要因となり、当中間期の営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ11億9千3百万円増加しております。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、129億4千9百万円のマイナス(前年同期比75.9%増)となりました。市場開発の推進・強化に伴い、販売機器の投資が前年同期に比べ増加いたしました。これが主要因となり、当中間期の投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ55億8千8百万円支出が増加しております。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、13億9百万円のマイナス(前年同期比26.3%減)となりました。当中間期における新株予約権の権利行使に伴い、自己株式の売却による収入が前年同期に比べ増加いたしました。これが主要因となり、当中間期の財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ4億6千7百万円支出が減少しております。

近畿コカ・コーラボトリング株式会社

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第48期 (平成17年12月31日)	第49期(中間) (平成18年6月30日)
<資産の部>		
流動資産:		
現金及び預金	7,274	4,101
受取手形及び売掛金	9,417	9,890
有価証券	—	5
たな卸資産	5,755	6,146
繰延税金資産	2,501	1,974
その他	4,614	4,238
貸倒引当金	△ 35	△ 36
流動資産合計	29,528	26,321
固定資産:		
有形固定資産:		
建物及び構築物	15,890	15,397
機械装置及び運搬具	6,871	6,362
販売機器	14,463	15,030
土地	19,508	20,333
建設仮勘定	85	577
その他	1,041	1,068
有形固定資産合計	57,861	58,769
無形固定資産:		
ソフトウェア	3,113	3,079
連結調整勘定	159	145
その他	373	266
無形固定資産合計	3,646	3,491
投資その他の資産:		
投資有価証券	7,540	7,270
繰延税金資産	3,604	5,159
その他	4,985	4,801
貸倒引当金	△ 639	△ 628
投資その他の資産合計	15,490	16,603
固定資産合計	76,998	78,864
資産合計	106,527	105,186

【現金及び預金】

現金及び預金は、(株)レックスリースの売却により前期末に比べ31億7千3百万円減少し、41億1百万円となりました。

【土地】

土地は、新神戸支店の土地取得により、前期末に比べ8億2千5百万円増加し、203億3千3百万円となりました。

【建設仮勘定】

建設仮勘定は、新神戸支店の建設により、前期末に比べ4億9千2百万円増加し、5億7千7百万円となりました。

(単位:百万円)

科目	第48期 (平成17年7月31日)	第49期(中間) (平成18年6月30日)
<負債の部>		
流動負債:		
支払手形及び買掛金	3,891	4,391
短期借入金	4,264	6,410
未払金	4,450	2,799
未払法人税等	324	188
役員賞与引当金	—	12
その他	5,061	6,002
流動負債合計	17,992	19,804
固定負債:		
長期借入金	4,300	3,000
退職給付引当金	1,710	1,895
役員退職慰労引当金	245	158
繰延税金負債	419	455
その他	3,995	3,811
固定負債合計	10,670	9,321
負債合計	28,663	29,126
<少数株主持分>		
少数株主持分	55	—
<資本の部>		
資本金	10,948	—
資本剰余金	10,040	—
利益剰余金	56,024	—
その他有価証券評価差額金	849	—
自己株式	△ 53	—
資本合計	77,808	—
負債、少数株主持分及び資本合計	106,527	—
<純資産の部>		
株主資本:		
資本金	—	10,948
資本剰余金	—	10,040
利益剰余金	—	54,322
自己株式	—	△ 53
株主資本合計	—	75,256
評価・換算差額等:		
その他有価証券評価差額金	—	746
評価・換算差額等合計	—	746
少数株主持分	—	56
純資産合計	—	76,059
負債純資産合計	—	105,186

【未払金】

未払金は、前期末の明石ロジスティクスセンター建設代金の支払いにより、前期末に比べ16億5千1百万円減少し、27億9千9百万円となりました。

【長期借入金】

長期借入金は、借入金の返済により、前期末に比べ13億円減少し30億円となりました。

【利益剰余金】

利益剰余金は、当期中間損失および前期配当金により、前期末に比べ17億1百万円減少し、543億2千2百万円となりました。

近畿コカ・コーラボトリング株式会社

連結損益計算書

(単位:百万円)

【売上高】

エリア内販売数量の減少および前期末における㈱レックスリースの売却に伴い、売上高は前年同期に比べ45億1千8百万円減収(5.2%減)の816億5千1百万円となりました。

【営業利益】

エリア内販売数量の減少による売上総利益の減少を補うべく、経費削減に努めましたが、結果として、営業利益は前年同期に比べ18億4千4百万円減益(73.6%減)の6億6千2百万円となりました。

【経常利益】

営業利益の減少を受け、経常利益は前年同期に比べて19億2千8百万円減益(79.3%減)の5億2百万円となりました。

【中間純利益】

特別損失として経営統合費用2億7千4百万円および製品回収等による損失14億7千4百万円を計上したこと等により、中間純利益は前年同期に比べ22億3千1百万円減の8億6千5百万円の損失となりました。

科 目	第48期(中間) (平成17年6月30日)	第49期(中間) (平成18年6月30日)
売上高	86,169	81,651
売上原価	47,387	45,061
売上総利益	38,781	36,589
販売費及び一般管理費	36,274	35,926
営業利益	2,506	662
営業外収益	153	186
受取利息	8	7
受取配当金	21	11
不動産賃貸収入	48	52
持分法による投資利益	10	—
容器保証金戻入益	—	52
その他	65	62
営業外費用	229	345
支払利息	79	41
不動産賃貸料原価	34	27
貯蔵品他廃棄損	95	145
持分法による投資損失	—	90
その他	20	40
経常利益	2,431	502
特別利益	4	3
固定資産売却益	0	0
その他	4	3
特別損失	642	2,146
製品回収及び廃棄費用	—	1,474
経営統合費用	—	274
固定資産売却及び除却損	327	213
電話加入権評価損	—	130
固定資産除却補償金	—	29
ゴルフ会員権等評価損	30	18
投資有価証券評価損	—	4
新紙幣対応費用	284	—
税金等調整前中間純利益又は中間純損失(△)	1,793	△ 1,640
法人税、住民税及び事業税	253	179
法人税等調整額	160	△ 956
少数株主利益	12	2
中間純利益又は中間純損失(△)	1,365	△ 865

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第48期(中間) (平成17年6月30日)	第49期(中間) (平成18年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,547	4,840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,982	△ 8,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,288	92
現金及び現金同等物の増減額	△ 146	△ 3,173
現金及び現金同等物の期首残高	4,579	7,234
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,433	4,061

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動による資金の収入は、税金等調整前中間純損失が16億4千万円であったものの、減価償却費が47億1千9百万円、長期前払費用償却費が12億4千4百万円あったこと等により48億4千万円(前年同期比17億6百万円減)となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動による資金の支出は、販売機器等有形固定資産の取得による支出が65億7千8百万円あったこと等により、81億5百万円(前年同期比18億7千6百万円増)となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動による資金の収入は、配当金(7億5千万円)の支払はあったものの、短期借入を実行したことにより、9千2百万円(前年同期比31億9千6百万円減)となりました。

会社概要 (平成18年7月1日現在)

商号	コカ・コーラウエストホールディングス株式会社
本店	福岡市東区箱崎七丁目9番66号
福岡本社	福岡市博多区住吉一丁目2番25号 キャナルシティ・ビジネスセンタービル5階
大阪本社	大阪市北区西天満四丁目15番10号 ニッセイ同和損保フェニックスタワー7階
設立	昭和35年12月20日
資本金	152億3千1百万円
事業内容	コカ・コーラ等清涼飲料水の製造・販売およびグループ会社の経営管理等
上場取引所	株式会社東京証券取引所(市場第一部) 株式会社大阪証券取引所(市場第一部) 証券会員制法人福岡証券取引所

取締役

代表取締役	末吉 紀雄	CEO
代表取締役	守都 正和	COO
取締役	原田 忠継	
取締役	森井 孝一	
取締役	吉松 民雄	専務執行役員、CMO
取締役	桜井 正光	㈱リコー 代表取締役、社長執行役員
取締役	魚谷 雅彦	日本コカ・コーラ㈱ 代表取締役会長 就任予定

監査役

常任監査役	新見 泰正	常勤
常任監査役	神田 博	常勤
監査役	平川 達男	前㈱リコー 代表取締役、副社長執行役員
監査役	大内田勇成	㈱シティアスコム 代表取締役社長
監査役	京兼 幸子	京兼法律事務所 弁護士

経営諮問委員会

委員長	桜井 正光	㈱リコー 代表取締役、社長執行役員
委員	魚谷 雅彦	日本コカ・コーラ㈱ 代表取締役会長 就任予定
委員	松尾 新吾	九州電力㈱ 代表取締役社長
委員	榎本 一彦	福岡地所㈱ 代表取締役会長、 ロイヤルホールディングス㈱ 代表取締役会長
委員	埴 俊昭	三菱重工食品包装機械㈱ 取締役社長(代表取締役)
委員	石原 進	九州旅客鉄道㈱ 代表取締役社長
委員	松崎 隆	弁護士、徳永・松崎・斎藤法律事務所 代表
委員	武藤 英二	㈱NTTデータ経営研究所 取締役会長
委員	伊藤 邦雄	一橋大学 副学長

グループ会社一覧 (平成18年7月1日現在)

● コカ・コーラウエストジャパン株式会社

主な事業内容: 飲料の販売
本社所在地: 福岡市東区箱崎七丁目9番66号

● 西日本ビバレッジ株式会社

主な事業内容: 飲料の販売
本社所在地: 福岡市東区箱崎ふ頭五丁目1番6号

● コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社

主な事業内容: 飲料の製造
本社所在地: 佐賀県鳥栖市轟木町二本松1670の2

● コカ・コーラウエストジャパンベンディング株式会社

主な事業内容: 自動販売機のオペレーション業務
本社所在地: 福岡市東区箱崎七丁目9番66号

● コカ・コーラウエストジャパンカスタマーサービス株式会社

主な事業内容: 自動販売機関連業務
本社所在地: 福岡県古賀市谷山871番地

● コカ・コーラウエストジャパンロジスティクス株式会社

主な事業内容: 貨物自動車運送業
本社所在地: 広島市中区東千田町二丁目11番20号

● 株式会社ニチベイ

主な事業内容: 食品の加工
本社所在地: 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜6番9号

● 鷹正宗株式会社

主な事業内容: 酒類の製造・販売
本社所在地: 福岡県久留米市大善寺町黒田297番地

● ウエストジャパンサービス株式会社

主な事業内容: 保険代理業、OA機器販売業、リース業
本社所在地: 福岡市東区箱崎七丁目9番66号

● 近畿コカ・コーラボトリング株式会社

主な事業内容: 飲料の販売
本社所在地: 大阪府摂津市千里丘七丁目9番31号

● 関西ビバレッジサービス株式会社

主な事業内容: 自動販売機ビジネス関連業務
本社所在地: 大阪府摂津市千里丘七丁目9番31号

● 株式会社ネスコ

主な事業内容: 飲料の販売
本社所在地: 大阪府摂津市千里丘七丁目9番31号

● 近畿コカ・コーラプロダクツ株式会社

主な事業内容: 飲料の製造
本社所在地: 大阪府摂津市千里丘七丁目9番31号

● 関西ロジスティクス株式会社

主な事業内容: 飲料等の配送業務
本社所在地: 大阪府摂津市千里丘七丁目9番31号

● 株式会社レックスエステート

主な事業内容: 不動産関連事業
本社所在地: 大阪府摂津市千里丘七丁目9番31号

● 株式会社セイコーコーポレートジャパン

主な事業内容: 自動車関連事業
本社所在地: 大阪府八尾市楠根町四丁目8番1号

● 株式会社カティアック

主な事業内容: 飲料・食品の販売
本社所在地: 大阪府泉南市泉州空港南1

● 株式会社シーアンドシー

主な事業内容: 外食事業、食品の製造販売
本社所在地: 大阪府摂津市千里丘七丁目9番31号

● 株式会社秋吉システムズ

主な事業内容: 外食事業
本社所在地: 大阪市北区曾根崎二丁目14番14号

● 三笠コカ・コーラボトリング株式会社

主な事業内容: 飲料の製造・販売
本社所在地: 奈良県天理市嘉幡町643番地

● 三笠ビバレッジサービス株式会社

主な事業内容: 飲料の販売
本社所在地: 奈良県天理市嘉幡町643番地

● 三笠サービス株式会社

主な事業内容: 自動販売機関連業務
本社所在地: 奈良県天理市嘉幡町643番地

● 三笠ロジスティク株式会社

主な事業内容: 貨物自動車運送業
本社所在地: 奈良県天理市嘉幡町643番地

● 大山ビバレッジ株式会社

主な事業内容: 飲料の製造
本社所在地: 鳥取県西伯郡伯耆町金屋谷306-1

株式の状況 (平成18年7月1日現在)

発行可能株式総数 270,000千株

発行済株式の総数 111,125千株

株主数 25,251名

大株主

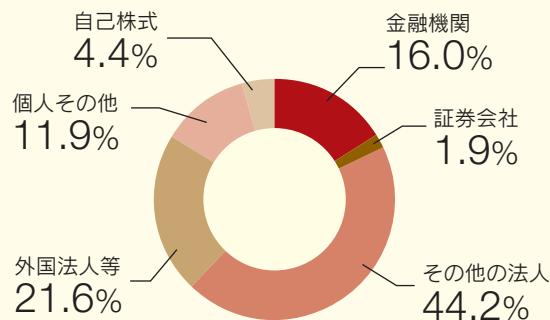
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
株式会社リコー	16,792	15.9
麒麟麦酒株式会社	11,626	11.0
財団法人新技術開発財団	5,294	5.0
コカ・コーラホールディングズ・ウエストジャパン・インク	4,074	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,013	3.8
三菱重工食品包装機械株式会社	3,912	3.7
株式会社西日本シティ銀行	3,703	3.5
メロンバンク トリーティー クライアーツ オムニバス	3,652	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,639	2.5
昭和炭酸株式会社	1,609	1.5

(注) 当社は、自己株式4,904千株を保有しておりますが、上記の表には記載せず、議決権比率の算定にも含めておりません。

所有者別株式数の状況

	株主数(名)	所有株式数(千株)
■ 金融機関	85	17,751
■ 証券会社	32	2,132
■ その他の法人	515	49,137
■ 外国法人等	255	24,019
■ 個人その他	24,363	13,180
■ 自己株式	1	4,904
	25,251	111,125

株式数の構成比



株主メモ (平成18年7月1日現在)

決算期	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	
・定時株主総会、利益配当金	12月31日
・中間配当金	6月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 (〒540-8639) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都府中市日鋼町1番10 (〒183-8701) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求)	☎ 0120-175-417
(その他のご照会)	☎ 0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.ccwh.co.jp/koukoku/) に掲載いたします。ただし、電子公告 によることができない事故その他の やむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待制度 (平成18年6月30日現在)



**コカ・コーラギフト券1枚で、
500ml PET製品4本と
お引き換えいただけます。**

平成18年6月30日現在のコカ・コーラウエストジャパン株式を100株以上所有の株主さまに対し、ご所有株式数に応じて下記のとおり「コカ・コーラギフト券」を贈呈いたします。

「コカ・コーラギフト券」1枚でコカ・コーラ社製品(500ml PET製品(一部の製品を除きます))4本とお引き換えいただけます。

基準日	贈呈基準		優待内容
	ご所有株式数		
6月30日	100株以上	500株未満	コカ・コーラギフト券 3枚 (1,764円相当)
	500株以上	1,000株未満	コカ・コーラギフト券 4枚 (2,352円相当)
	1,000株以上	5,000株未満	コカ・コーラギフト券 6枚 (3,528円相当)
	5,000株以上		コカ・コーラギフト券12枚 (7,056円相当)

Coca-Cola West

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社

〒812-8649 福岡市博多区住吉一丁目2番25号
キャナルシティ・ビジネスセンタービル5階
広報・IRグループ TEL 092-283-5718
<http://www.ccowh.co.jp/>

